

国立国際医療研究センター  
国際診療部

令和元年度厚生労働省補助事業「医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業」における補助対象医療機関の募集について、令和元年11月26日から12月10日までの期間をもって公募を行ったところ、46件の応募申請がありました。

申請内容について外部の委員を含む検討委員会において検討を行い、本事業の補助対象とする以下の25医療機関を選定しましたので、お知らせいたします（順不同）。

金沢医科大学病院
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院
社会医療法人 北斗 北斗病院
成田赤十字病院
相澤病院
一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院
大阪大学歯学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
磐田市立総合病院
東京都立広尾病院
医療法人真生会 真生会富山病院
津山中央病院
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
国際医療福祉大学 三田病院
アドベンチスト メディカルセンター
千葉西総合病院
福岡県済生会福岡総合病院
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
大阪赤十字病院
社会医療法人誠光会 草津総合病院
医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院
福岡赤十字病院
NTT 東日本 関東病院
医療法人財団康生会武田病院

## Q&A

Q1. 今回の補助事業にはどの地域から何件くらいの応募がありましたか？

A1. 北海道から沖縄まで46件の応募がありました。

Q2. どのように選定をしたのですか？

A2. 提出された資料をもとに、事業の主旨を鑑み、外部有識者を加えた検討委員会を開催して検討が行われました。

Q3. 選定結果の詳細は公開されますか？

A3. 非公開です

Q4. 前年度までの補助事業と同じ対応ですか？

A4. 新しく令和元年度から、外国人患者受け入れについての拠点的な医療機関の選定が各地ではじまりました。このため、今回は地域での取り組みを行う医療機関のスタートアップ支援も含めた選定を行いました。

Q5. 補助事業額は申請どおりでしょうか？

A5. 申請どおりではない医療機関もあります。体制整備支援の事業として、これまでの補助額なども鑑み、新規取り組み医療機関、地域バランスなどを考慮して決定しています。

Q6. 選定された場合、体制整備のための支援は受けられるのでしょうか？

A6. 相談対応も行います。また、選定された医療機関を対象とした会議をオンライン等で行います。ニーズや取り組み課題把握のための訪問調査にもご協力いただきます。

Q7. 今回は選定されませんでしたでしたが、次年度に募集があった場合に応募は可能ですか？

A7. 可能です。

国立国際医療研究センター 国際診療部（堀・杉浦）  
メール [iccinfo@hosp.ncgm.go.jp](mailto:iccinfo@hosp.ncgm.go.jp)